

2017 年度 行事報告

【総 会】

日 時：2017 年 6 月 24 日（土）
場 所：佐倉城址公園
参加者数：71 名（大人 68 名、子供 3 名）

総会が佐倉城址公園で行われました。事務局より 28 年度会計報告と 29 年度世話人と行事予定の提案があり、承認されました。

【79 回観察会】

日 時：2017 年 6 月 24 日（土）
場 所：佐倉城址公園
参加者数：71 名（大人 68 名、子供 3 名）
採 集 数：同定：18 種、未同定：19 種

今年は雨の少ない春で、梅雨入りしてからも雀が泣く程度の雨量だった。それでも観察会の数日前に嵐が来てそこそこ雨も降り、キノコ発生の期待をほんのちょっぴりだけ胸に秘めての参加となった。歴博休憩所にて 10 分ほどの総会の後、良い天気フィールドに意気揚々と出たものの、思ったよりもさらにカラカラのPASSAPASAで、先輩方のお話を聞く

と「乾燥が長く続いたのでキノコが菌核化してしまったのだろう」と。それでもクモタケを掘るところが見られたり、菖蒲園で花を鑑賞していたら、その根元にキノコがあったりも。



第 79 回観察会 集合写真 2017 年 6 月 24 日 於：佐倉城址公園

同定会場には少ないながらも何種類かのキノコが並び、なかでも白いアラゲキクラゲが印象的で、やはり今回も楽しい観察会となった。(菊乃)

観察記録 (50 音順) ()内は博物館の標本番号
 アミスギタケ(FB-43327), アラゲキクラゲ(FB-43330), アラゲキクラゲ(白)(FB-43332), ウチワタケ, ウラベニガサ(FB-43337), オオホウライタケ(FB-43326), クモタケ(FA-43339), クリゲノチャヒラタケ(FB-43338), クロコブタケ, クロハツモドキ, クロラッパタケ, コフキサルノコシカケ, サワフタギタケ?, スジウチワタケモドキ(FB-43324), 仙人杖(*Colletotrichum hsienjiwnchang*)(FA-43343), タマチョレイタケ, ハイイロイタチタケ(FB-43325), ヒナノヒガサ(FB-43335), *Cantharellus*(FB-43331), *Conocybe*, *Crepidotus*, *Entoloma*(FB-43340), *Inocybe* 2 種, *Laccaria* 2 種, *Lycoperdon*, *Marasmius*(FB-43342), *Panaeolus*(FB-43334), *Panaeolus*(FB-43336), *Parasola*(FB-43323), *Pluteus*(FB-43329), *Pluteus*(FB-43341), *Psathyrella*, *Russula*, *Scleroderma*(FB-43333), *Stemonitis*(FM-43328).

【80 回観察会】

日 時: 2017 年 9 月 24 日 (日)

場 所: 泉自然公園

参加者数: 72 名 (大人 64 名、子供 8 名)

採 集 数: 同定: 55 種、未同定: 11 種

今年は雪解けが遅く、本州の野山の春の訪れは例年に比べて 7 日~10 日前後の遅れだったろうか? 6~7 月の梅雨の時期、極端に雨が少なかった。きのこと長く関わっている先輩は、『梅雨の時期に雨も少なく気温も上がらなかった為きのこの菌糸が広がっていない為の不作』と仰ってました。そのせい? 夏きのこの出は極端に悪く初秋からのきのこの出も目を覆いたくなるほどの惨憺たる状況。

9 月 24 日の泉自然公園のきのこ観察会も期待をせずに始まった。お天気にも恵まれ、大先輩のグループとご一緒させて頂いた。午後から白井公民館で同定会。大勢の参加者のお陰で、想像以上に様々なきのこが採集できた。TV 局の取材もあり、一日を通して、活発な観察会と同定会でした。(高野和子)



第 80 回観察会 集合写真 2017 年 9 月 24 日 於: 泉自然公園

観察記録 (50 音順) ()内は博物館の標本番号
 アイゾメクロイグチ (FB-43459), アオゾメ
 タケ, アカキツネガサ, アカチャツエタケ,
 アラゲキクラゲ, イヌセンボンタケ
 (FB-43452), イロガワリ, ウスヒラタケ
 (FB-43467), ウラムラサキ (FB-43445), ウ
 ラムラサキシメジ, エリマキツチグリ
 (FB-43469), オニタケ, カサヒダタケ
 (FB-43442), カワラタケ, カワリハツ
 (FB-43440), キアシグロタケ, キショウゲ
 ンジ (FB-43460), キツネノエフデ (FB-43457),
 キツネノロウソク (FB-43465), クロラッパ
 タケ (FB-43455), コガネショウロ (FB-43458),
 コフキササルノコシカケ, サマツモドキ
 (FB-43456), ザラエノハラタケ, サンコタ
 ケ (FB-43450), シラゲアセタケ, シロタマ
 ゴテングタケ (KOH で黄変せず) (FB-43464),
 スッポンタケ (FB-43463), スミゾメヤマイ
 グチ, ダイダイガサ, チシオタケ (FB-43438),

チリメンタケ (FB-43471), ツクツクハウシ
 タケ (FA-43447), ツチナメコ, ツノマタタ
 ケ (FB-43451), ツルタケ, テングタケ, テ
 ングタケダマシ (FB-43468), ドウシントケ,
 トゲミノカラカサタケ (FB-43461), ナガエ
 ノチャワシタケ (FA-43449), ナラタケモド
 キ (FB-43443), ニガクリタケ (FB-43462),
 ヌメリツバタケ (FB-43439), ノウタケ, ノ
 ボリリュウ (FA-43448), ハイイロイタチタ
 ケ, ハナオチバタケ, ヒイロタケ, ベニチャ
 ワシタケモドキ (FA-43446), ホウネンタケ,
 モミジウロコタケ, ヤグラタケ, ヤナギマツ
 タケ, ユキラッパタケ (FB-43466), Agaricus,
 Clitocybe (FB-43441), Hebeloma, Hygrocybe,
 Hymenopellis (FB-43444), Hypomyces,
 Limacella (FB-43453), Lycoperdon, Parasola
 (FB-43454), Parasola (FB-43472),
 Strobilomyces (FB-43470).



第 81 回観察会 集合写真 2017 年 10 月 1 日 於 : いちはらクオードの森 (旧市原市民の森)

【81 回観察会】

日 時: 2017 年 10 月 14 日 (土)

場 所: いちはらクオードの森

(旧市原市民の森)

参加者数: 47 名 (大人 42 名、子供 5 名)

採 集 数: 同定: 48 種、未同定: 15 種

※報告は 52 ページをご参照ください。

観察記録 (50 音順)

() 内は博物館の標本番号
アオゾメタケ, アカヤマタケ, アカヤマドリ,
アシボソノボリリュウ (FA-43548), アンズ
タケ, ウスヒラタケ (FB-43538), ウラベニホ
テイシメジ (FB-43554), エリマキツチグリ,
オニフウセンタケ, カキシメジ (FB-43535),
カノシタ, カラカサタケ (FB-43542), クサ
ウラベニタケ, クロカワ, クロラッパタケ,
ケロウジ, コウモリタケ, コテングタケモド
キ, サマツモドキ, ザラエノハラタケ, シロ
アンズタケ (FB-43544), シロハツ, スギエ
ダタケ, スミゾメヤマイグチ, タマアセタケ
(FB-43547), タマゴタケ, タマシロオニタ
ケ (FB-43550), チシオタケ, チチアワタケ,
チチタケ, ツヤウチワタケ, トビチャチタ
ケ (FB-43551), ナラタケ, ニオイキシメジ
(FB-43553), ヌメリイグチ, ヌメリササタ
ケ, ノボリリュウ (FA-43539), バカマツタ
ケ (FB-43568), ハタケシメジ, ハツタケ
(FB-43579), ハナオチバタケ, ハナビラニ
カワタケ (FB-43543), ヒョウモンクロシメ
ジ (FB-43549), ミネシメジ, ミヤマタマゴ
タケ, ムラサキシメジ (FB-43552), ヤマド
リタケモドキ, ルリハツタケ (FB-43537),
Amanita (FB-43545), Clavaria, Cortinarius
(FB-43540), Geastrum, Geoglossum
(FA-43546), Gymnopilus, Hygrocybe,
Hygrophorus, Lepista (FB-43536),
Lycoperdon, Ramaria, Russula, Suillus
(FB-43541), Thelephora, Tylopilus.

【2017 年度 日本菌学会菌類観察会 (銚子フ ォーレ)】

日 時: 2017 年 9 月 22 日 (金) ~ 24 日 (日)

場 所: 銚子市「君ヶ浜しおさい公園」、
東庄町「千葉県立東庄県民の森」

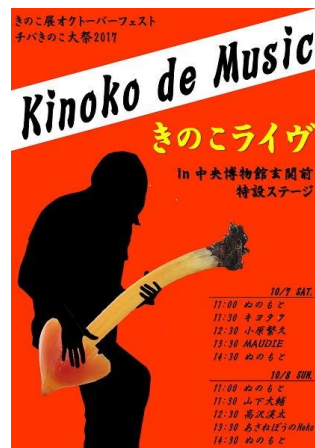
2017 年度日本菌学会菌類観察会の共催者
として「菌類懇話会」とともに参加いたしました
(詳細は 47 ページをご参照ください)。

【チバきのこ大祭】

日 時: 2017 年 10 月 7 日 (土) ~ 8 日 (日)

場 所: 千葉県立中央博物館

千葉県立中央
博物館主催「きの
こ展オクトーバ
ーフェスト」の一
環として開催さ
れた「チバきのこ
大祭」の実行委員
会を本会が務め
ました。きのこ大
祭は、きのこを愛
する団体が東西
から集結し、手作
りのきのこ雑貨
やきのこにちな
んだ食品、栽培き
のこの販売、ワー
クショップ、演奏
会などなど、盛り
だくさんのきの
こ好きのための
大イベントで、既
知の「フクオカき
のこ大祭」や「ヨ
コハマきのこ大祭」になぞらえ、今回は「き
のこワンダーランド」という企画展が開催さ
れていたことによる特別開催となりました。



【自然誌フェスタ千葉】

日 時：2017 年 11 月 3 日（金・文化の日）
場 所：千葉県立中央博物館

自然誌フェスタ千葉において、ポスターによる活動報告と会報や絵葉書の販売、きのこスタンプによる図鑑づくり、季節柄、持ち込まれたきのこの同定を行いました。今年で 4 回目となるこのイベントは、千葉県立中央博物館と連携して調査研究をおこなっている様々な団体が一堂に集まり、それぞれのブースにて活動の様子や成果を、展示や体験コーナーを通じて紹介し合い、千葉の自然と文化についての知見を広めることができるということです。※文化の日は入場無料です。

【第 26 回スライド会】

日 時：2018 年 1 月 13 日（土）
場 所：千葉県立中央博物館講堂
参加者数：99 名（大人 80 名、子供 19 名）

多数の発表がありました。今回も「すずらん」によるハンドベル演奏で癒され、小物展示では手作り品も多く並びました。終了後は、新年会となり、交流を深めました。

スライド発表（発表順）

須賀良行：2017 年のきのこ
前川啓二：赤いきのこでリス、ハイテンション
大久保泰和：珍菌カラカサタケ
中島淳志：硬質菌類の孔口拡大写真からの自動特徴量抽出
浅井淑子：2017 年のキノコ
浅井郁夫：2017 年の印象に残ったきのこ
林 智恵：アミガサタケは「腐生菌」か、それとも「菌根菌」か？
遠藤康伸：「ヒト」と「キノコ」とスエヒロタケ
根田 仁：きのこの観察について
大作晃一：最近撮っている写真と本の紹介
三休さん：菌の名は。Fungus name.



♪ハンドベル演奏♪

演奏：すずらん（演奏者 20 名）
指揮：近田節子 / 「瑠璃色の地球」
曲目：「愛を叫べ」「星に願いを」



小物展示コーナー

<写真・書籍・資料等>

- ・写真『きのこ』
- ・書籍『きのこる きのこ LOVE111』
- ・『2017 年の気温・雨量とヤマドリタケモドキの発生 - 行田公園 10 年のデータ - 』

<小物展示品>

陶板製のきのこ作品、布で表現した作品 3 点（サナギタケ、切り株きのこカバン、アンモニア菌）、Mycobook（書籍より発生させたヒラタケ・カワラタケのアート作品）2 点、「暖皮」標本、同人誌、昔の図鑑の絵、スタンプ、オフジェ、T シャツ、手作り絵ろうソク、ハンカチ、オーナメント、アイロンプリントのマイバックとハンドメイド雑貨、メモ帳、ポストカード、きのこ鎌、きのこべら、四葉の葉、キャラメル、他。

※一部が参加者へプレゼントされました。ご提供いただきましたみなさま、ありがとうございます。